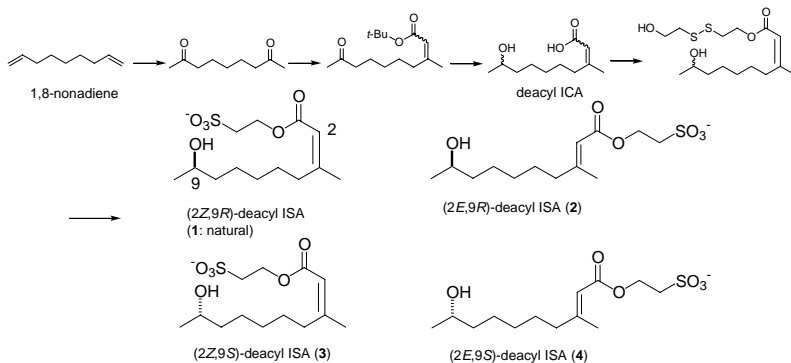


海綿由来多剤耐性克服物質の探索研究(第3報) ~ Irciniasulfonic acid (ISA)の合成 ~
 江村 智佐登¹, 山口 洋介¹, 田中 正一¹, 末宗 洋¹, 宮本 智文¹, 樋口 隆一¹(¹九大院薬)

【目的】 Irciniasulfonic acid (ISA)は海綿*Ircinia* sp.よりヒト頭頸部扁平上皮癌細胞由来KB株のピンクリスチン耐性株KB/VJ300 株に対する耐性克服活性を指標に単離された新規脂肪酸誘導体である¹⁾。前報²⁾に引き続き、ISAの耐性克服活性発現メカニズムを解析するため、ISAの合成を企画し、天然型deacyl ISA (1)及び3種の異性体(2, 3, 4)を合成した。

【実験・結果】 1,8-nonadieneより、Wacker酸化、Horner-Emmons反応、NaBH₄による還元、MTPAによる光学分割、2-hydroxyethyl disulfideとのエステル化、ジスルフィド結合の酸化を経て、deacyl ISAを合成した。現在、これら4種の耐性克服活性について検討している。



1) Kawakami A. *et al.*, *Tetrahedron Lett.*, **42**, 3335 (2001).

2) 日本薬学会第122年会, 講演要旨集2, p134 (千葉, 2002).